

平成24年度事業報告

わが国の食料・農業・農村には、担い手の確保、耕作放棄地の有効利用、6次産業化の推進、生産コストの低減、食の安全を求める消費者への対応、二酸化炭素の排出削減等による地球温暖化防止、さらにはWTOやFTA、TPP等国際交渉への対応など克服しなければならない課題が山積している。

これに対して国は、平成22年3月に制定された新たな「食料・農業・農村基本計画」に基づき、また昨年3月の東日本大震災の復興政策が幅広く展開している。

これら農業農村振興策や震災復興策を推進する上で農業機械・施設が果たす役割は極めて大きい。高性能で安全かつ安価な農業機械・施設の普及はもとより、農作業の安全確保や長期効率利用による利用コストの低減等を推進するに当たり、農業機械化関係者の積極的な取り組みが強く求められている。

平成24年度は、農作業安全活動の強化・促進、定期点検整備・中古価格調査・中古査定士などの流通整備対策の推進、省エネ農業機械認証制度の確立、被災した農業機械・施設の取扱方法や被災農地における適正な農業機械の利用法などに関する情報発信を行うなど会員各位の協力・支援のもと新たな視点を含めて効率的に取り組みました。

平成24年度事業報告の要点は次のとおりである。

I 農業機械化推進対策

1 「機械化フォーラム2012」の開催

我が国農業・農村の主要課題に関連する農業機械化の課題について有識者の講演と意見交換を行う機械化フォーラムを「低炭素型低コスト農業生産に向けた農業機械からのアプローチー省エネルギー型農業機械の普及と農業機械の利用コストの低減についてー」テーマに開催した。

2 省エネルギー型農業機械の開発・普及

平成21～22年度に本会実施の省エネ事業（農林水産省補助事業）を受け平成23年度から農林水産省が開催している省エネルギー性能表示制度に係る意見交換会に積極的に参画した。農業機械の省エネルギー性能表示制度の早期確立に向けた検討を関係会員等と協力して行った。

3 農業機械・施設の新製品情報の提供

優良な農業機械の普及を促進するため、新製品情報（会員から提供されたプレ

スリリース資料、新聞報道資料等)を本会メールマガジン「新製品情報」でユーザーへ提供した。各製品の詳細情報は会員のホームページとリンクして紹介した。

4 農業機械化研修及び農業機械士活動の強化及び支援

農業機械の適正導入と効率利用及び農作業安全運動を推進するため、農業大学の農業機械化研修及び農業機械士活動について、研修用のテキスト改定検討や全国農業機械化研修連絡協議会及び全国農業機械士協議会の事務局担当を含め協力・支援した。

5 定期点検整備による農業機械の安全利用とコスト削減に関する研究会

これまで実施してきた現地調査やアンケート調査を踏まえ、検討してきた共通チェックシートを取り纏めると共に、中古農業機械査定士との融合を図り、点検整備励行者のメリット実現を図るなど、その普及開始を目指した。

6 中古農業機械査定士養成制度研究会

これまで検討した「中古農業機械の査定方法」を基に中古査定士の養成・認定や制度の運営方法を検討して関係団体と共に試行する。平成25年度からの制度発足に取り組んだ。

7 農業機械レンタル事業に関する情報の収集・提供

農業機械レンタル事業の普及に資するため、農業機械レンタル事業者及び新規参入者等の求めに応じ「レンタル農業機械ガイドライン」(平成21年度農林水産省事業)及び関係情報を提供した。

8 東日本大震災の復旧・復興に関する農業機械化情報の提供

農業機械・施設にも及んだ大震災からの復旧・復興において農業機械が十分な役割を果たすことができるよう、塩水に浸水した農業機械・施設の対処方法等の情報を引き続き発信した。

9 農業機械化関係機関等との協力・連携の推進

(1) 道府県段階の地方機械化団体の機械化諸施策への協力・連携

農作業事故防止運動、中古農機査定士制度の試行及び定期点検整備の励行など農業機械化推進業務での連携を図った。

(2) 国、生研センター、地域機械化研究センターへの協力

国及び生物系特定産業技術研究支援センター等の関連業務に協力した。

(3) 農業機械・施設の実用化促進、野菜・果樹等の機械化事業への協力

新農業機械実用化促進株式会社の実用化促進検討会等へ協力した。

(4) 本会が会員となっている団体等との連携・協力・情報交換、運営協力等
(一社)日本農業機械工業会、(公社)中央畜産会、(公社)大日本農会、農産園芸団体連合会、全国コントラクター等経営高度化推進協議会、農業技術検定協会の活動に会員として参画した。

(5) 関係団体等との連携・協力、情報交換及び連絡調整など
(一社)日本施設園芸協会、(一社)全国農業改良普及支援協会、(公社)農林水産・食品産業技術振興協会と連携・協力し情報交換した。

II 農作業安全対策（技能向上対策を含む）

- 1 農作業事故防止中央推進会議（全国会合）による安全運動の拡大・効率化
農作業事故を防止し安全快適な農作業の推進を図るため、都道府県農業機械化担当者等を主たる対象として農作業事故防止中央推進会議を開催、新しい農作業安全講習の検討を含め、農作業事故を防止し安全快適な農作業の推進を図った。
- 2 農作業安全運動用の資料・資機材の制作普及
農作業事故防止活動の推進に資するため、農作業安全対策関係資料・資機材を制作・頒布した。
 - (1) 農作業事故救急処置等の安全啓発ビデオを頒布した。
 - (2) 安全啓発パンフレット・のぼり・ポスター等農作業安全関係資料・資機材を制作頒布した。
 - (3) 農機用後部反射マーク（低速車マーク）のHP紹介等普及促進に取り組んだ。
- 3 農業機械化研修用テキスト・教材（道府県農業大学校等で利用）は、案内チラシ配布やテキスト改定検討会の開催を含め制作普及に努めた。
- 4 農作業安全運動推進本部（全国農業機械化団体と連携）の活動
 - (1) 春・秋の農作業安全運動用の安全啓発ポスターを刊行した。
 - (2) 林業災害防止協会の取り組み事例報告、建設機械の労災対策など他の産業機械業界の事故防止方策を研究し、全国の農業機械化団体との情報交換を行い、新しい農作業安全講習構想を検討した。
- 5 農機具型式検査合格機・安全鑑定適合機の普及促進
会員等の求めに応じ検査合格証票・安全鑑定適合証票を制作頒布すると共に、安全鑑定制度の申込手続き等に関する問い合わせに対応した。

- 6 本会ホームページによる安全啓発情報の提供
インターネットホームページによる安全啓発情報の内容の充実と提供に努めた。
- 7 農林水産省の農作業安全対策への積極的協力支援
国の農作業安全確認運動（春秋）へ参加登録すると共に会員や関係団体へ参加や支援・協力を要請した。併せて国が行う安全装置実用化事業等への委員派遣や安全運動情報交流用のメーリングリストの運営などに積極的に協力した。

Ⅲ 農業機械化調査研究

1 重点調査

(1) 農業機械の安全利用に関する実態調査

農業機械の安全利用に資するため、農業機械士等を対象とする農業機械安全利用調査を生研センターに協力して実施することとしたが、本年度は実施しなかった。

2 流通状況調査

(1) 中古農業機械流通状況調査

中古農業機械流通実態調査を実施して「平成 22 年中古農業機械価格等ガイドブック」を発行した。「平成 23 年中古農業機械価格等ガイドブック」発行のための集計分析と編集作業を行った。

(2) 農業機械県別出荷台数調査

国の調査（隔年実施）を補完するため平成 23 年分を調査し、関係者に情報提供した。

3 機械化情報研究

会員等へ農業機械化に関する最新情報を提供した。

(1) 農業機械化情報研究会の開催

農業機械・施設関連の技術情報・行政情報など農業の機械化・施設化に関する講演会を 6 回開催した。

(2) 農業機械化事情確認現地研究会の開催

平成 24 年度は、実施しなかった。

4 広報活動

会員や農業機械利用者等に有益かつ最新の情報を発信した。

(1) ホームページの充実による情報提供

最新の農業機械化・施設化情報、農作業安全情報、本会の調査研究事業の成

果、関係機関の農業機械化情報などを整理し提供した。

(2) 農業機械化広報の発信

時宜を得た関係機関の行事情報など短期利用に適する農業機械化情報をメールマガジン方式で毎月1回(10日発行)発行した。

5 図書資料等の作成配布事業

関係図書資料を作成配付した。

(別紙 本会が発行・頒布している資料の一覧参照)

IV 農林水産省等への政策建議

本会会員からの意見・提案を集約し農林水産省生産局農業資材対策室長へ政策建議した。農業機械化関係団体への意見・提案要請は実施できなかった。

V 国際協力事業

1 国際協力情報の収集

日本貿易振興機構(JETRO)、国際協力機構(JICA)など国際協力機関及び現地駐在関係者を通じた諸外国の食料・農業・農村・農業機械化情報及び国際協力関係機関の技術協力情報を収集し、会員へ直接情報提供するほか農業機械化情報研究会、メールマガジン等で情報提供した。

2 国際協力関係機関が推進する農業機械化案件への協力・支援

JICAの要請に応じて「中央アジア・コーサカス農業機械化システム」の講義「日本の農業機械化行政について」を担当した。農林水産省、JICAが招聘した海外からの訪問者に関し、農水省、JICAの要望に応じて会員企業との連絡調整を行った。

VI 一般社団法人への移行

- 1 平成24年9月21日 一般社団法人への移行認可を申請した(内閣総理大臣へ)
- 2 平成25年2月18日 修正書類の提出(公益認定等委員会事務局長)
- 3 平成25年3月21日 一般社団法人として認可された(内閣総理大臣より)
- 4 平成25年4月1日 旧法人の解散登記・新法人の設立登記
- 5 平成25年4月17日 内閣府及び農林水産省へ移行登記完了届の提出
- 6 平成25年5月 公益目的財産額の確定手続き

VII その他

関係機関の依頼によりイベントなどの協賛・後援名義の使用許可及び本会所有の
著作権の許諾を行った。

平成24年度 <2012> 本会動勢

<p>I-1 機械化フォーラム2012</p>	<p>2012農業機械化フォーラム テーマ：「低炭素型低コスト農業生産に向けた農業機械からのアプローチー省エネルギー型農業機械の普及と農業機械の利用コストの低減についてー」 開催期日・場所・参加人数：平成24年12月6日・全印健保会館 大会議室・131名 基調講演：「低炭素型低コスト農業生産に資する技術開発の方向」 農水省 西郷正道氏 講演： 1. 省エネルギー型農業機械・施設の開発・普及 1) 農業機械の省エネルギー性能表示制度の構想について 農水省 今野聡氏 2) 燃費性能の優れた建設機械の導入促進について 国土交通省 山下尚氏 3) トラクターにおける最近の省エネルギー技術について 井関農機(株) 土井義典氏 (株)クボタ 福永智章氏 ヤンマー(株) 伊部敏彦氏 第1部パネルディスカッション(パネリスト；講演者5名、司会；本会澤村) 2. 生産コスト低減に資する定期点検整備制度と中古農業機械査定士制度 1) 自動車査定協会の業務について 自動車査定協会 福井行洋氏 2) 定期点検整備制度の構想について 日本農業機械化協会 松本訓正 3) 中古農業機械査定士制度の構想について 日本農業機械化協会 松本訓正 第2部パネルディスカッション(パネリスト；講演者2名、司会；本会澤村) 省エネルギー農業機械等のパネル展示及びカタログ配布 8社内1社はカタログ配布のみ</p>
<p>I-2 省エネルギー型農業機械の開発・普及</p>	<p>1. 農業機械の省エネルギー性能表示制度に係る意見交換会(第3回) 主催：農林水産省 開催期日：平成24年7月12日 開催場所：農林水産省生産局第1会議室 2. 省エネ認証制度発足に向けた検討会 主催：本会 開催期日：平成25年3月18日 開催場所：馬事畜産会館第3会議室</p>
<p>I-5 定期点検整備による農業機械の安全利用とコスト削減に関する研究会</p>	<p>定期点検整備研究会(1回) 開催期日：平成24年12月6日・開催場所：全印健保会館 2012農業機械化フォーラムの中で定期点検整備制度の構想について検討した。</p>
<p>I-6 中古農業機械査定士養成研究会</p>	<p>1. 中古農業機械査定士制度研究会(1回) 開催期日：平成24年12月6日・開催場所：全印健保会館 2012農業機械化フォーラムの中で中古農業機械査定士制度の構想について検討した。 2. 中古農業機械査定士制度説明会(3回) 開催期日：平成24年2月20日・開催場所：馬事畜産会館第4会議室 開催期日：平成24年9月5日・開催場所：馬事畜産会館第4会議室 開催期日：平成25年3月28日・開催場所：馬事畜産会館第4会議室 3. 地域説明会(4地区) 1) 岩手県説明会 開催期日：平成24年10月10日・開催場所：岩手自治会館 2) 長野県説明会 開催期日：平成24年10月23日・開催場所：NOUSA I 長野会館 3) 岡山県説明会 開催期日：平成24年11月8日・開催場所：県商組事務所 4) 熊本県説明会 開催期日：平成24年11月29日・開催場所：県商組事務所 4. 中古農業機械査定士制度打合せ会 開催日時：平成24年1月10日～平成25年2月8日(11回開催) 開催場所：馬事畜産会館応接室他 5. 中古農業機械査定士制度に対する公正取引委員会の相談指導 6. 中古農業機械査定士制度に対する農業機械士の意向調査 平成24年12月4日開催の農業機械士関東ブロック会議において中古農業機械査定士制度に対する</p>

	<p>意向調査を行い、35人から回答を得た。 「査定士制度があった方がよい」25人(71.4%)、「不明」4人(11.4%)、「未記入」6人(17.1%)</p>
<p>Ⅱ-1 農作業事故防止中央推進会議</p>	<p>1. テーマ 農作業事故発生を抑止し、農作業の安全を確保するためには、農業者はもとより関係者のより一層の安全意識の高揚を図ることが急務であるので、中央推進会議を開催し、地域ぐるみの農作業事故ゼロ運動の推進に資するとともに新たな全国共通の農作業安全講習制度の構想について検討した。 併せて、地域における農作業安全対策や生産コスト低減の基幹的役割を担う農業機械士の資質向上を図り、組織活動を強化するため、活動事例等の情報交換を行い農業機械士活動の強化を図った。</p> <p>2. 開催期日：平成25年2月28日(木) 3. 場所 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館 2階会議室 4. 参加者数： 120名</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 農作業安全の取り組みについて (農林水産省生産局農産部技術普及課生産資材対策室長 小川祥直氏)</p> <p>(2) 農作業安全に係る農業機械士活動について (全国農業機械士協議会長 伊藤一栄氏)</p> <p>(3) 農作業事故の対面調査を踏まえた安全啓蒙対策(紹介) (日本農業機械化協会 専務理事 松本訓正)</p> <p>(4) 林業労働災害防止のための講習概要 (林業労働災害防止協会技能師範 上野徳也氏欠席のため協会代読)</p> <p>(5) 農作業安全に係る農業大学の機械研修について (愛知県立農業大学校研修部研修科 科長補佐 加藤恭宏氏)</p> <p>(6) JAグループにおける農作業事故防止への取り組み (全国農業協同組合中央会営農・農地総合対策部営農企画課審査役加藤和久氏)</p> <p>(7) 全国共通の農作業安全講習制度(構想)について (日本農業機械化協会 指導部長 森田豊)</p> <p>(8) 総合討論</p>
<p>Ⅲ-2 流通状況調査</p>	<p>1. 主要農業機械都道府県別出荷台数調査(国の隔年実施を受けて補完的に実施 対象機種 33機種・報告企業数 97社) 2. 中古農業機械販売価格等調査(平成23年中古農業機械価格ガイドブック作成中・ 23年1月～12月流通実績 調査回答企業数 133事業所)</p>
<p>Ⅲ-3 農業機械化情報研究会</p>	<p>1. 第1回農業機械化情報研究会 テーマ：タンザニアの食料農業問題 講師：前タンザニア大使 中川 坦氏 期日：平成24年6月14日 場所：馬事畜産会館第2, 第3会議室 参加者数：28名</p> <p>2. 第2回農業機械化情報研究会 テーマ：農業機械化専門家が見たミャンマー・ベトナムの最新情勢 講演1) ミャンマーの農業機械化事情 (株)タスクアソシエーツ 森 明司氏 講演2) ベトナムにおける農業機械化の現状と将来 生研センター 西村 洋氏 期日：平成24年7月24日 場所：日本橋公会堂 第4洋室 参加者数：37名</p> <p>3. 第3回農業機械化情報研究会 テーマ：低コスト・高品位農産物生産を支える経営戦略支援ICTツール 講演1) 圃場生産管理支援システム 中央農業総合研究センター 吉田 智一氏 講演2) 営農支援活動で利用できる「営農計画策定支援システムZ-BFM」の特徴と活用法 中央農業総合研究センター 松本 浩一氏 期日：平成24年9月25日 場所：全印健保会館大会議室 参加者数：31名</p> <p>4. 第4回農業機械化情報研究会 テーマ：平成25年度農業機械・施設関係予算説明会 講師：農林水産省担当課長補佐等 期日：平成24年10月5日 場所：農水省共有第10会議室 参加者数：47名</p> <p>5. 第5回農業機械化情報研究会 テーマ：平成24年度農業機械・施設関係補正予算説明会 講師：農林水産省担当課長補佐等</p>

	<p>期日：平成 24 年 10 月 16 日 場所：農水省共有第 9 会議室 参加者数：64 名</p> <p>6. 第 6 回農業機械化情報研究会 テーマ：東南アジア諸国における農業情勢 講演 1) タイ及びミャンマー等の周辺国における農業と消費市場について 農林水産省 井上 知郁氏 講演 2) カンボジアにおける農業の現状と今後の展開方向 農林水産省 渡邊 雅彦氏</p> <p>期日：平成 25 年 2 月 20 日 場所：全印健保会館会議室 参加者数：30 名</p> <p>7. 第 7 回農業機械化情報研究会 テーマ：平成 24 年度補正予算大豆・麦等生産体制緊急整備事業説明会 講師：農林水産省担当課長補佐等</p> <p>期日：平成 25 年 3 月 1 日 場所：農水省講堂 参加者数：58 名</p>
Ⅲ－4 農業機械化 広報(メールマ ガジン)	<p>毎月(10日)農業機械化広報(メールマガジン)を発行 時宜に応じた農業機械化トピックス、主催した会議の報告等及び新製品情報、農業機械業界ニュースを掲載した。</p>
Ⅲ－5 毎年刊行す る図書資料	<p>1. 2012/2013 農業機械・施設便覧 2. 平成 22 年度中古農業機械価格ハンドブック</p>
V 国際協力事 業	<p>1. 「中央アジア・コーサカス農業機械化システム」コース講義 テーマ：日本の農業機械化行政について 期日：平成 24 年 12 月 11 日 場所：中央区明石町区民館第 3 号室 講師：澤村宣志</p>
VII 会議の開催	<p>1. 総会：平成 24 年 5 月 25 日 ホテルラフォーレ東京 2. 理事会 ①臨時理事会：平成 24 年 4 月 13 日 本会(書面表決) ②第 1 回理事会：平成 24 年 5 月 25 日 ホテルラフォーレ東京 ③第 2 回理事会：平成 25 年 3 月 26 日 機械振興会館 3. 監査会：平成 24 年 5 月 9 日 馬事畜産会館 4. 幹事会 第 98 回より第 106 回まで年間 9 回開催した。</p>

別紙 本会が発行・頒布している資料の一覧

<パンフレット類>

- ・付けていて良かった安全フレーム・安全キャブ
- ・実践しよう 女性と高齢者にやさしい農作業安全
- ・ヒヤリ体験 事例と対策

- ・トラクター転倒死亡事故を防ごう
- ・地域で取組む農作業安全
- ・トラクターの構造と安全な使い方
- ・備えて安全 ストップ・ザ・農作業事故
- ・コンバインの構造と安全な使い方
- ・耕うん機・刈払い機の構造と安全な使い方

- ・事故事例に学ぶ農作業安全対策
- ・絵で見る農作業安全のための指針
- ・農作業の安全確保 果樹作業の場合
- ・クイズで農作業安全
- ・クイズで農作業安全チェック(果樹版)

- ・事故の芽を摘む工夫
- ・事故の芽を摘む工夫(その2)
- ・事故の芽を摘む工夫(その3)
- ・刈払機の作業を安全に
- ・あなたにもできる農作業事故の救急措置
- ・農作業安全 平成格言集

<ビデオ>

- ・農業研修における安全管理（VHS）
- ・刈払機の作業を安全に（DVD）
- ・あなたにもできる農作業事故の救急処置（DVD）

- ・セイフティアグリシリーズ1(DVD)
- ・地域ぐるみで事故を防ぐ—トラクター安全研修の進め方
- ・トラクターセイフティチェックポイント
- ・トラクター運転操作の基本・農機の路上走行を安全に
- ・あなたを守る安全フレーム

- ・セイフティアグリシリーズ2(DVD)
- ・春の農作業を安全に
- ・中山間地域の農作業安全—春の農作業～耕うん 代かき 田植～
- ・耕うん作業を安全に
- ・秋の農作業を安全に
- ・中山間地域の農作業安全～秋の稲収穫～
- ・安全なコンバイン作業

- ・セイフティアグリシリーズ3(DVD)
- ・あなたのための安全保護具
- ・事故を防ぐ農機の安全装備
- ・安全確保のための正しい工具の使い方

<イラストビデオ>

- ・農作業安全シリーズ1(DVD)
- ・女性と高齢者の安全を確保しよう
- ・あなたの安全度チェック
- ・トラクター転倒事故を防ごう

- ・農作業安全シリーズ2(DVD)
- ・農作業事故の実態と防ぎ方
- ・「農作業」環境丸ごと点検

<ビデオ(VHS)>

- ・「日本の稲作機械化」（ビデオで見る農業機械化発展史）（日、英、仏、中、スペイン語）

<安全確保啓発資機材>

- ・農機用反射マーク
- ・農機用反射テープ
- ・農作業安全啓発ワッペン
- ・危険回避予告板
- ・農作業安全保護メガネ
- ・危険回避ワンタッチ腕章
- ・農作業安全のぼり
- ・低速車表示 農機用後部反射マーク(小型仕様、国際標準仕様)
- ・低速車表示 農機用後部反射マーク(マグネット式)

<図 書>

- ・農業機械導入利用安全指導ハンドブック(改訂版)
- ・耕うん・整地
- ・最新・農業機械・施設ガイドブック
- ・農業機械化発展史

- ・トラクター作業機の構造と安全操作
- ・農業機械士技能検定試験問題例題集
- ・農業機械整備の基本技術
- ・農業機械化技術の経済性

- ・農作業安全のための指針
- ・トラクターの機能と基本操作(改訂)
- ・農業機械士技能検定試験テキスト(改訂)
- ・果樹用機械と安全利用

- ・農作業安全の基本と指導のポイント
- ・高性能農業機械等の試験研究、実用化の促進及び導入に関する基本方針参考資料09
- ・Dr.文武の農作業安全コラム
- ・2012/2013農業機械・施設便覧
- ・平成22年度 中古農業機械価格ガイドブック